

すこやか No.11

2024（令和6年）7月29日
福山市立東朋中学校

7月末に「生命の安全教育」を学習しました。各学年内容が違い、1部スライドと授業の感想を載せています。

2年生：らしさについて考える・気持ちの上手な伝え方

気持ちの上手な伝え方として、「あなた」が主語の「Youメッセージ」、「わたし」を主語にした「Iメッセージ」について取り組みました。「あなた」が主語の「Youメッセージ」ではなく、「わたし」を主語にした「Iメッセージ」で話せば、相手を責めずに自分の気持ちやお願いを伝えられると思います。是非、日々の中で活用してみてくださいね！

実際に Iメッセージの練習をしてみよう

遊ぶ約束をしていたEさんが当日の朝に家の用事ができたと連絡をしてきました。
しかし後日遊ぶ約束だった日にEさんがTさんと遊んでいたことが分かってしまいました。

EさんへのIメッセージとYouメッセージを考えてみましょう



Youメッセージ(あなたは)ー

- なんて嘘ついたの!?
- 嘘つかないで、信じられない
- こっちが先に約束したのに…気持ち考えてよ。
- 私の気持ちなんて考えてないでしょ。理由を教えてよ。

Iメッセージ(わたしは)

- 違う人と遊ぶ約束しているんだったら、先に言ってほしかった。
- 嘘ついて遊んでたのが悲しかったな
- 嘘をつかずに素直に言ってほしかった。
- 嫌われたのかな…

～感想～

- 相手を罵倒するのではなく、自分の気持ちを先に伝えると争いが起きずに、仲直ができると思った。
- 言い方で印象がすごく変わること気づいた。自分の考えも相手が傷つかないように伝える。
- 「Youメッセージ」はとても怖く、威圧感を感じたが、「Iメッセージ」は相手のことを気遣っており、柔らかい印象を受けたので、「Iメッセージ」を使いたい。

1年生：心と体の距離感、デートDV・SNSトラブル

自分と相手を守るもの ～距離感ってなに？～

自分の心や体は自分だけのものです。他人との距離は自分自身で決めることができます。自分と相手を守る時に距離感が役立ちます。

体の距離感

心地よい距離は人によって違います。近寄られるのをいやがる人もいます。



僕はAだと思
う



私はBだと思
う

違う考えの人もいるんだね



あなたが相手と接するときに心地よいと感じる距離を考えてみましょう。

- ①家族 ②友達 ③知らない人

性暴力の例【SNS等を通じた被害】

インターネットやスマートフォンは、性暴力に巻き込まれてしまうきっかけになることもあります。加害者や被害者にならないためにはどうすればよいでしょうか。

- インターネット上で知り合った相手を簡単に信用しない。
- インターネット上で知り合った相手はもちろん、実際相手や友達であっても下着姿や裸の写真を撮ったり、撮らせたり、送ったり、送らせたりしない。
- 問題が起きたときは、一人で悩まず周囲の信頼できる大人や警察、相談窓口にご相談しましょう。



～感想～

- 自分の気持ちを大切にすると同時に相手の気持ちも尊重する。
- パーソナルスペースを保ち、嫌なことは嫌とはっきり言うようにしたい。
- 性暴力やSNS性被害にあったら相談する
- 写真や文などに個人情報が含まれていないかを確認して投稿する。
- SNSでの犯罪や被害を知っておくこともSNS被害を防ぐためにも大切だと思った。
- SNSは誰が見るか分からないから、自分の顔や制服などの投稿はしないほうがいいと思った。

3年生：デートDVと距離感について

デートDVの暴力の種類

体への暴力 なくる 蹴る たたく 物をなげる等

心への暴力 嫌な呼び方をする 馬鹿にする 無視する

おどす 物を壊す等

お金に関する暴力 お金を返さない いつもお金を払わされる等

性的な暴力 無理やり体を触る 裸の画像を見せる 等



気になる友だちがいたら

友だちがデートDVを受けているかも…

- ・友だちの気持ちによりそって、話をきちんと聴いてあげましょう。
- ・「つらかったんだね」「あなたは悪くないよ」と伝えてください。
- ・そして、相談できる窓口があることを教えてあげてください。

友だちがデートDVをしているかも…

- ・「暴力は絶対にダメ!」ということを友だちに伝えてください。
- ・暴力によらない問題解決の方法を友だちと一緒に考えましょう。

×言ってはいけない言葉

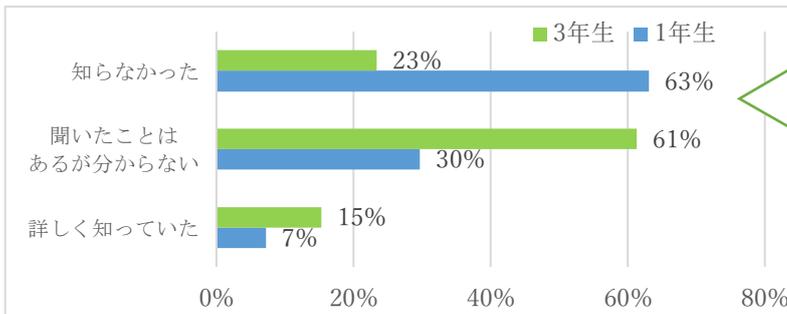
「大したことはないよ」
「別れれば」
「愛されているんだね」
「あなたが我慢すればいいんじゃない」

ステキな関係とは

- ★イヤなことは「イヤだ」と言える関係
- ★お互いに相手のことを大切にしている関係
- ★相手の「イヤだ」も受け入れる関係

～感想～

- デートDVはされても「好きだから」となって別れたりするのが難しそうだった。
- 蹴ったり、殴ったりだけではなく、言葉の暴力や異性のLINEを消すなどデートDVに入ることが分かった。
- 何かあったときは、相談窓口で相談したり、相手と話し合うことが大切だと分かった。
- 女性がDVをされるのはニュースでよく聞くけど、男性も女性の半数ほどDVを受けているのは知らなくてビックリした。
- 自分がやられて嫌なことは相手も嫌だと思えるから、相手のことを考えることが大切だと思った。
- 相手と対等な関係（お互いが自分の意見をしっかり言える関係）を築いていけるようにすべきだなと思った。



「あなたはデートDVという言葉を知っていますか?」というアンケートを1年生と3年生に実施したところ以下の結果になりました。

1年生は「知らない」と回答した生徒が半分以上でしたが、授業を通してほとんどの生徒が「詳しく知ることができた」「なんとなく分かった」と肯定的な回答していました。

もし、性暴力にあってしまったり、友達が性暴力にあったら、性暴力を目撃したら、ひとりで抱え込んだり、自分たちふあけで解決しようとしなくて、信頼できる大人（学校の先生、スクールカウンセラー、保護者など）などだれかに話してみましょう。もし、周りの人に話せないときは、あなたを助けてくれるところがあります。

参考URL

中学生向けデートDV啓発資料（神奈川県）

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/32566/bemysself_2020-3.pdf

福岡県「あなたのココロ傷ついていませんか? デートDVと性暴力」

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/150845.pdf>

文部科学省 生命の安全教育指導資料

https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index2.html#junior-high

あなたを助けてくれるところ

性犯罪・性暴力被害者のための
ワンストップ支援センター
(全国共通電話番号)
はやくワンストップ
☎8891

性犯罪被害相談電話
ハートさん
(全国共通電話番号)
はーとさん
☎8103

★一人一人の命が大切にされる

★加害者にも被害者にもならない…を目指して悩んだり、疑問に思うことがある時などいつでも相談してください!

保護者の皆様へ

7月22日にA4裏表印刷の「生命（いのち）の安全教育について ～保護者のみなさんへ～」を配付しました。近年の性犯罪被害やデートDVの若年層での増加をうけ、子どもたちを性被害の加害者にも被害者にも傍観者にもしないことを目標に、内閣府と文部科学省において全国の学校での実施がすすめられています。

今回、生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切に考える考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を発達段階に応じて身に付けることを目指し取り組みました。ご家庭でも生命（いのち）の安全教育について話題にしてみてください。